

随 想

秋 深 き 日 に

社会福祉法人一誠福祉会 理事長 滝川 一 亮

長男夫婦が最近、伊勢志摩で還暦を祝ってくれました。久しぶりに伊勢神宮、おかげ横丁に行き、名物の赤福と伊勢うどんを頂いてきました。

「赤福」の名は、まごころ（赤心）をつくすことで素直に他人の幸せを喜ぶことができる（慶福）という意味の「赤心慶福」（せきしんけいふく）に由来するといわれています。本店の軒先にかかる海老茶色の暖簾をくぐると朱塗りのかまどから湯気が立ち昇り、地元三重県産の番茶を煎じる香ばしい香りが広がります。

一年を通じてお伊勢参りが朝5時からできるので、これに合わせて毎朝5時に店を開けるそうです。参拝者に対するまごころを感じられます。

還暦とは、60年で生まれた年の干支に一巡して戻ることで「暦」が「還る」ところからきています。生まれた年に戻るのです。生まれた年に戻る、第二の人生に生まれ変わるという意味で「還暦」と呼ばれ長寿を祝うようになりしました。還暦、古希、喜寿、傘寿、米寿と当施設にご入居の皆様も喜びの節目を通られてきたこ

とと存じます。100歳を迎えられた方は白、もしくは桃色のちゃんちゃんこを着ます。桃色なのは「百」を「もも」と読むからです。

日本に於いては、女性の最高齢は大阪府柏原市の巽フサさんで、1907年（明治40年）4月25日生まれの116歳、男性は千葉県館山市の園部儀三郎さんで、1911年（明治44年）11月6日生まれの111歳です。9月8日敬老の日のお祝いに下江新城市長さんが、麗楽荘を訪問してください、100歳以上のご入居の方々8名に敬老金や記念品を手渡してくださいました。ありがとうございました。

秋を表す季語に「色無き風」という言葉があります。風は無色だと思いますが、五十鈴川の河辺に佇むと目に飛び込んできくる情景や、頬をなでる仄かな冷たさから五感が研ぎ澄まされ、清浄な白、紅葉の紅、稲穂の金色などなどいろいろな色が見えてくる気がしました。改めて初心に帰り、人に喜んで頂ける様、私心なく、正直に生きてゆきたいと思った秋深き一日でした。



宗徧吉田流茶道研修

茶々倶楽部再開に向けて

ケアハウス美光ハイムハウス長 鈴木 由加里

令和 5 年 10 月 17 日の第 3 火曜日、コロナ感染拡大で中断されていた荘内研修茶々倶楽部が 3 年 8 ケ月ぶりに再開されました。

今回の研修は令和 5 年度本部事業計画の「介護人材の育成・確保・定着への取組み強化」の一つであり、法人にとって重要な復活事業になります。

茶々倶楽部担当者が集まり 7 月から会議を重ね、研修を行うことの意味や趣旨について、どのようなようにしたら職員に伝わり、理解を得られるかを考えてきました。

茶々倶楽部豊橋講師の

林宗那先生が法人創立 30 周年記念に寄稿して下さい「礼儀作法などから人間性を重んじて、介護に携わる人材を育成する」との一文を元に、茶道を学ぶことで得られる、おもてなしの心を身につけていただけたらと、資料を作成し当日を迎えました。



稽古の記憶がよみがえり

日本を代表する総合文

化である茶道を通じて①挨拶がしっかりとできる②相手を思いやる気持ちを持つ③コミュニケーション能力が高まる。これらのスキルを身につけていただくことで、自分自身で働きやすい職場環境を作ることができ、ご利用者様ともより良い関係が築けると考えます。

研修再開にあたり、まず案内文を各施設に掲示。職員からは「始まるんだね」と、戸惑いとも取れる言葉も聞かれました。次に日程発表と希望日の確認。(10月・11月)(12月・1月)(2月・3月)と、年度内はふた月を 1 クールとして 3 回行う為に人数を調整。第 1 回目の参加者は 40 名ほどになりました。

当日、参加職員は受付で名簿にチェック。そして資料を手に着席。定刻の午前 8 時に担当者から研修の趣旨を含めた挨拶があり、次いで 20 分程のお点前の DVD を観ていただいた後、荘長の総評で研修は終了しました。

モデルのお点前姿を観て、お稽古に励んでいた頃を思い出す職員もいて、手始めとしては好意的な反応でした。茶道未経験の職員にも、「和敬清寂」わがやういせうじやく「一期一会」いちごいちえの言葉の意味を知って、心豊かな人になって頂きたいと思えます。

最後になりましたが、滝川理事長には、貴重な資料をご提供いただきありがとうございました。

事業報告

施設建物大規模

修繕事業

老人保健施設ベルヴューハイツ

事務次長 森 幹登

令和五年度事業計画の

大きな柱、中長期事業計画の中の施設大規模修繕事業が七月十八日、ここベルヴューハイツを皮切りに、作楽荘・美光ハイム・DSC吉かわ・麗楽荘・和光ハイムの三拠点での工事が行われています。

防水シートの劣化による剥がれ、建物側壁面の亀裂やコーキングの剥がれ、再塗装など、雨漏り対策、美観のための塗装を行います。

BVHでは足場を組むため、壁面近くにある倉庫の撤去や樹木の伐採、

網戸をはずし、事前の準備はとても苦慮しました。建物は足場が組みまると、外壁を覆うシートですっぽり隠れてしまいました。



シートに覆われたBVH

月二回ほどの現場会議を重ね、十月二十日、ベルヴューハイツとDSC吉かわの解体前検査が行われ、まもなくシートから化粧直しをした建物が現れます。

年内には完工となり、工事最終段階です。

地域連携

地域合同防災訓練

特別養護老人ホーム奇楽荘

荘長 相山 由里子

特別養護老人ホーム奇

楽荘にて、十月二十四日、BCP(事業継続計画)のマニュアルに沿って避難、自家発電機の確認、炊き出しなどの防災訓練を行いました。

地元のガス供給会社(株)あみや商事様を取り扱いを指導されるなか、当職員、入居者様やご家族、そして、近隣の福祉関係者ら約三十名が訓練に参加しました。

避難訓練では部屋からの出火を想定し、入居者様がヘルメットをかぶり車いすで移動をしました。

自家発電機はLPガスを使うタイプで、実際に扇風機とガスファンヒーターの作動テストを行いました。炊き出しでは、大きな釜(最大一〇〇食分)でご飯を炊き、大きな寸胴にお湯を沸かしてレトルトカレーを温め、少し焦げましたがご飯はおいしく炊き上がり、カレーライスにして味わたところ結構好評でした。

コロナウィルス感染拡大により、四年間このような地域と連携した防災訓練は出来ませんでした。昨今異常気象が叫ばれる中、実態に合わせた訓練の積み重ねがとても重要であると思いますので、今後も積極的に取り組んで行きたいです。

長寿祝賀会

明るく楽しい日々が送れますように

特別養護老人ホーム作楽荘 介護士副主任 白 井 紅 音

9月18日の敬老の日の祝日に長寿祝賀会を催しました。昨年はコロナ禍により実施出来ませんでした。今年に入所者様・関係職員十数名の少人数ではありますが開催することが出来ました。

出席が叶わなかった滝川理事長からはビデオレターの祝辞が届けられ、参加された皆さんは大変感激されていました。

今年100歳を迎える入所者様へ内閣総理大臣からの表彰状や記念品が贈呈されました。「沢山あって持てんなあ」と言いつつも嬉しそうでした。その後、施設からのプレゼ

ント贈呈もあり、代表で選ばれた方もしっかりと受け取られていました。



後藤本部長より表彰状授与

最後に入所者様から謝辞のお言葉。直前まで「大丈夫かなあ、上手にできるかなあ」と大変不安そうにされていたのですが、落ち着いた様子で謝辞の言葉を述べられており、とても感動的でした。

式典終了後、会場を移動し、カラオケ大会を開催しました。最初は職員が歌って場を盛り上げ、続いて入所者様も一緒になってリクエスト曲を歌い、自然と手拍子が沸き上がるなど楽しまれていました。

「青い山脈」や「時の流れに身をまかせ」などの昔の名曲を楽しそうに歌っておられ、普段は大人しい方も積極的に参加する姿がみられました。カラオケが終了すると、「またやりたい」と意欲的な発言も聞かれました。最後に100歳を迎えた入所者様へ、職員一同とご家族様からのメッセージが書かれた色紙をプレゼントしました。その場でメッセージを嬉しそうに読まれ、それを居室に飾ると大変



人前で歌うのは久しぶり

喜んでいただけました。コロナの影が見え隠れし、まだまだ盛大にお祝いすることが難しい昨今ですが、入所者様に少しでも明るく楽しい日々を過ごしていただけるように、私達職員も行事や日常の業務を更に考え工夫していきたいと思っています。来年こそはご来賓・ご家族様と一緒に、盛大なイベントが開催できるよう世の中が平和でありますように。

いつまでもお元気で

老人保健施設ベルヴューハイツ 理学療法士 山 本 祥 子

9月18日、ベルヴューハイツ1階デフロアにて、長寿祝賀会を開催いたしました。今回は久しぶりに小規模ではありましたが、入所・通所の皆様一堂に会して合同のイベントを行うことが出来ました。

コロナウイルス感染予防により残念ながら理事長先生や、吉川太鼓「鼓流」の皆様の来所は中止となっていました。紅白幕で華やかに飾られたフロアで、入所・通所併せて約60名の皆様と共に、和やかに行われました。

現在ベルヴューハイツ

には、約95名の方が入所されており、最高齢は102歳の女性の方です。気分の良い時にはまだまだシルバーカーを使用し、歩行されており、食事でも自分で召し上がられています。また、デイケアでも100歳を迎えられた女性がご利用されており、こちらの方もリハビリでは手引きで歩く運動をされ頑張っています。

長寿祝賀会では、滝川理事長先生のビデオメッセージで祝辞をいただいた後、施設からささやかながら近藤施設長より、

贈り物などをお渡しさせていただきました。

ボランティアグループ「鼓流」の皆様は、温かい言葉と素敵な演奏をわざわざ録画してお届けくださいました。本当にありがとうございました。

参加された皆様、全員釘付けでご覧になられました。次の機会にはぜひ目の前で演奏が見られることを、入所者・職員一同楽しみにしています。

入所されている上の階の皆様の中には、初めて1階でのイベントに参加される方もいらっしゃいます。「こんなこと初めてだわ」「何が始まるのかな」と楽しそうにされています。また、デイケアでは、長くご利用いただ

ている方が「こんな風の上の人達と集まるのは久しぶりだね」と笑顔でお話しされていました。

感染症分類が5類へ移行し、以前ほど報道されなくなった新型コロナウイルスですが、最近インフルエンザと共に再び感染が広まってきている中で、感染症対策に十分留意しながら久しぶりに大人数での行事が無事に開催出来て、本当に良かったです。



迫力の画面に釘付け

リモート中継で時間を共有

特別養護老人ホーム作楽荘 相談員主任 今 泉 真 司

昨年は特別養護老人ホーム麗楽荘内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、長寿祝賀会の中止を余儀なくされたため、今年度の長寿祝賀会は会場・来賓の招待をどうするのか、無事迎えられるか、心配を抱えながらの準備となりました。

今年から5類感染症となったコロナの脅威は収まらず、私たちのすぐ傍で身を潜めていたかの如く感染の波がまたやってきていると耳にしておりました。来賓の皆様には健康・安全面を第一に考慮し今年度も規模縮小し

施設内のみで開催することになりました。会場に入れない方、サテライト施設(奇楽荘、GHきらら、GHうらら)の皆様にも長寿祝賀会に参加して頂けるよう機器に詳しい副荘長にお願いしてリモート中継を結び、中継に問題が無い数日前から入念に接続確認をし、各役割も割り振って、当日を迎えるのとなりました。

しかし、施設内で感染対策を講じているにも関わらず一人また一人と感染者が増えていく状況となっていました。幸い和光ハイムは感染の影響

がなかったため和光ハイムの入居者様のみの式典参加と急遽変更になりました。理事長来荘も叶わず祝辞はVTR映像を流す事となりましたが、リモート中継の準備をしていたかいもあり各フロア・サテライト施設に同時中継でき、場所は違えど、同じ時間を共有することができました。



リモート中継

時代の変化で参加方法の仕方が多様となり、このような形も今後あるの

かなと思いました。

午後からは、海野副主任によるバルーンアート体験。和光ハイム入居者の皆様は子供に帰ったようにはしゃぎ、楽しんで作品を作られていました。



バルーンアート体験

敬老の日を迎えられた入所者の皆様、ご家族様、この先も一日一日を楽しく元気で過ごしていけることを願いサポートさせていただきます。

新城最高齢を目指してみましよう。

研修報告

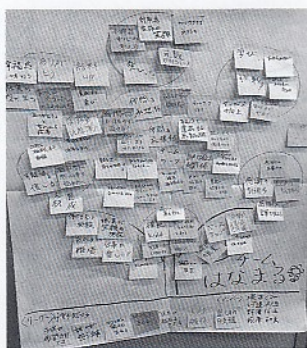
キャリアパス対応生涯課程
チームリーダー研修に参加

特別養護老人ホーム麗楽荘

介護士主任 野沢 佳正

令和5年8月30・31日の2日間、研修に参加させていただきました。研修は多種多様な方々と意見交換が出来るようグループ分けがされており、終始ディスカッション形式で進んで行きました。自分の意見を積極的に伝え、みんなの意見に耳を傾け、時間内にまとめて発表するという事を基本とし、自分自身の経験をベースに新しい知識、情報、経験を学び、自分の強み、弱みに気づき強化改善し、目標や行動指針を描き実践に繋げていくという研修でした。最終

的にはグループで行動指針を描くことができました。初めはぎこちなく始まった研修も徐々に打ち解け、研修が終了する頃にはグループ内で、色々相談できる関係を築けていました。



グループでの行動指針

研修前の事前学習に始まり、2日目の予習学習、終了後も提出課題がありタイトなスケジュールでしたが仲間もでき、とても充実した研修となりました。この研修で学んだことを現場で生かせるよう努めていきたいです。

老人保健施設ベルヴューハイッ

介護士副主任 藤城 那保

9月21・22日、チームリーダー課程の研修に参加させて頂き、自分自身のキャリアビジョンが少しイメージできたかと思っています。

1年半前、副主任の話を頂き、ただただ自信のない日々、くじけそうない日々が続いていました。今回の研修では、チームリーダーとしての役割を沢山学びました。人に伝えたいことがうまく伝わらない、これはただ言いたいことを相手に言うのではなく、本人の持ち味や、ニーズに合わせて伝え方の工夫をしたり、時間をかける(いつまでにと目標を立てる)ことを意識してやってみよう

思いました。

さらに、一人ひとりに役割を与える。自分だけで抱え込まない。このことは私の中にとっても響きました。チームとして一つになる。この大前提の事がうまくいかなくて、しんどいと感じる事もありました。私の行動が、他のメンバーに伝わるように努力していきたいと思いました。

ティーチングとコーチングを使い分けることで、私がメンバーの意思や気持ちを受け止めることや、悩みが明確になるという事を学びました。今回、他施設のリーダーの方と話す機会も沢山あり、貴重な時間を過ごすことができました。

新入職員紹介

令和5年4月～5月の入職者に、以下のアンケート

①～⑤について質問しましたので紹介いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

-
- ① 趣味・特技 ② 好きな食べ物 ③ 今はまっていること
④ 最近うれしかったこと ⑤ 今の仕事で難しいこと、頑張っていること
-



坂 隆一 さん

令和5年4月1日入職
老人保健施設
ベルビューハイツ
管理栄養士 正職員

- ① 音楽鑑賞
② キウイフルーツ
③ 筋トレ
④ バスケ男子のパリ五輪が決まったこと。
⑤ 初めて参加する行事に真剣に取り組んでいます。



上野美央 さん

令和5年4月1日入職
特別養護老人ホーム
作楽荘
介護士 準職員

- ① 海外ドラマ（特に韓国ドラマ）鑑賞
② 肉・チョコレート
③ TikTok、懸賞応募
④ 懸賞が当たったこと。
⑤ 安心して過ごしていただけるよう、ひとりひとりに合わせた声掛けやケアを心掛けています。



数井 詠美子 さん

令和5年5月15日入職
地域包括支援センター
ベルビューハイツ
ケアマネ 正職員

- ① ウォーキング
② エビ
③ ガーデニング
④ ガーデニングで育てた花が咲いたこと。
⑤ 支援のための手続きの流れを覚えることが多く、難しい。慣れないことも多く、利用者様と信頼関係を築けるようにしたいと思います。



加藤祐季 さん

令和5年4月1日入職
特別養護老人ホーム
作楽荘
介護士 正職員

- ① 読書・音楽鑑賞
② 抹茶の味のもの
③ ガチャガチャ（カプセルトイ）
④ 家族全員で外出できたこと。
⑤ 業務に慣れていけるように、かつ限られた時間の中でも利用者様とコミュニケーションを忘れず、丁寧なケアを提供できるよう日々がんばっています。



白井沙織 さん

令和5年5月22日入職
老人保健施設
ベルビューハイツ
理学療法士 正職員

- ① ホラー映画鑑賞
② 白米
③ アニメーションの制作
④ 千手観音の実物を見たこと。
⑤ 皆様の顔と名前を覚えること。



回顧録

お宮の森もターザンのジャングルに

—「自分史」のための覚え書き④—

ベルヴューハイツデイクア利用者 地 宗 一 郎

私の子供時代の男の子の外遊びは、「缶けり」「ドンジンチャン」「けいどろ」などたくさんあったが、とくに心に残っているのは「ターザンごっこ」と「野球」である。

ターザンというのは、当時大人気の外国映画「ターザン」の主人公で、象と一緒にジャングルの悪をけちらす活躍は、私達の憧れであった。

山野をかけ回って遊びたい、という男の子供達のロマンに、ターザンの勇姿と活躍は、これ以上ない刺激となった。

そんな私達にとって、身近なお宮の森は、絶好

の遊び場であった。そこは、たちまち昼なお暗いジャングルとなった。樹上には野獣がひそみ、木の陰からは、凶暴な土人が、槍を構えて隠れている、ターザンの密林に早変わりするのであった。

仲間は、探検隊組と土人組に分かれ、それぞれ秘密基地をつくり、木に登って見張りをたて、わなを仕掛けて、敵の来襲に備えるのだ。武器は、玩具の鉄砲に、手製の槍や弓矢。

時に、森を吹き抜ける風の音にも耳をそばだて、樹々の向こうに目をこらしながら、私達は、日が

な一日、全身で、空想の世界の遊びを楽しんだ。

私達の初めての球場もお宮の本殿の前の狭い庭であった。キャッチボールは、家の前の道路でもできたが、試合のできる広場は、他にはなかったからである。とはいえ、お宮の庭も、それほど広くない上に、参道が横切る、でこぼこの地面は、とても試合のできる場所ではなかった。

それでも、そこしか場所のとれなかった私達は、各々布製のグラブを持って、お宮に集合した。

ボールは、ビー玉の芯に毛糸をきつく巻いて丸めたもの。バットも、初めのうちは、誰かの親の手作りだったと思う。

狭い場所では、特別な

ルールが、どうしても必要になる。お互いに知恵を出し合って、ようやく試合開始となる。

野球とは名ばかりの野球もどきのゲームであったが、ボールを投げ、打ち、走るという面白さに私達は夢中になった。

時に、新栄チームが遠征し、菰口のお宮で、試合をしたこともあった。

道具もそろつてくると、学校の運動場で試合ができるようになったが、私には、野球もどきに熱中した、あの楽しさが、いちばん心に残っている。

物が乏しく、周りに整備された遊び場などなかった。けれども、子供の自由な空想や順応力が、そこに楽しい遊びの王国を創り出したのだ。

施設だより

作業荘

○身体拘束0を目指して

介護士副主任 鈴木 祐子

十月六日、身体拘束廃止委員会主催の荘内研修を実施しました。

身体を拘束することは介護保険法により現在原則禁止されています。そのため拘束の道具やその方法を知っておくことが必要です。今回は身体拘束についての映像の放映と実際に映像で使用されていたものと同様のものを自身に使用・体験して頂き、「何故拘束していけないのか」を肌で感じていただきました。

研修に参加して頂いた職員を四つのグループに

分け、実際に装具に触れ、体験してもらいました。

体験してみると、「不便だな」「自分だったら嫌だな」との声が聞こえました。

介護する相手が困った行動するからと、動けないように拘束すれば介護者の負担は軽くなるかもしれない。しかし、相互の信頼関係が崩壊し、逆に介護の負担を増大させる原因であると、今回の研修で改めて考えさせられました。



身をもって体験（研修風景）

作業荘

○自然との触れ合い

（赤塚山公園散策）

介護士 中村 友哉

九月二十五日晴天の中、豊川市にある、赤塚山公園に行ってきました。

感染症対策により、なかなか外出もできず、入所してから初めての外出イベントの方もいらつしやって、当日はとても楽しみにしていました。

片道三十分の車窓から外の風景を眺め、昔のころを懐かしく思い出していた方もみえました。

目的地に到着すると、あいにく室内の施設は休館日とのこと。入所者様、職員共にショックを受けましたがここは気を取り直して、ふと目をやると馬やヤギが遠くに見えるでは



外出記念撮影

ありませんか。するとある入所者様が、大声で「おい」と呼ぶと、何気に馬が笑って振り向いているようでした。ほどなくして日陰でおやつの水羊羹を食べ、まったりとした時間を過ごしました。自然の中で荘内では味わえない環境に触れることができ、久しぶりの外出で入所者様の新たな一面を見ることができました。これからも万全な対策をし、滞りなくイベントを遂行していきたいです。

美光ハイム

〇ぶどう狩り

介護士 菅沼 昌子

年間行事の一つにぶどう狩りがあります。

今年はぶどう狩りの代替として、マスカットのケーキを入居者の皆様に提供いたしました。沢山のシャインマスカットでデコレーションされた、「ボンブケーキ山梨マスカット」「プレミアムフレジエマスカット」と、おしゃやれなネーミングの美味しそうなケーキです。

コーヒーや紅茶と一緒に頼張る姿からは、ぶどう狩りの楽しさには及ばないけれど、少しでも雰囲気は感じて頂けたのではないかと思います。



ぶどうがてんこ盛り

その他雰囲気作りとして、皆様の生まれ故郷の映像をテレビに写し出し、ケーキを食べながら鑑賞しました。映し出されたモノクロの映像が懐かしさを増し、感慨深げにご覧になっていました。

美味しいケーキとお茶でまったり過ごす一日も良いものですが、やはり外に出て気兼ねなく声を出し、笑い合える「ぶどう狩り」が来年こそは再開できることを願うばかりです。

倶楽荘

〇豊橋公園で散歩

介護士 笹野 芳昭

十月に入りやっと涼しくなり、過ごしやすい季節の到来です。

コロナも少し落ち着き、中々行けなかった外出をするために豊橋公園へ散歩に出掛けました。

公園に行く道中も、「久しぶりに外に出て嬉しい」、「この道を真つすぐ行くと俺の家だよ」と嬉しそうに話されていました。

公園に着くと、「ちょっと寒いね」と肌で秋の気配を感じ、そして目でコスモスなどの花を堪能していました。



コスモスの前でツーショット

お土産に松ぼっくりを拾われており、「また、来

たいな」と感想を漏らしておりました。帰りの車の中でも「良いとこに連れて行ってくれてありがとう」と、お礼の言葉をかけて下さり、職員も心が温まりました。

今後も入所者様に喜ばれるように散歩や季節の花を飾ったりしたいと思います。





○倶楽祭

介護士 石井 靖子

九月二十七日、倶楽祭を行いました。

昼食には、お好み焼き、たこ焼き、フランクフルト、から揚げ、フライドポテト、チョコバナナ、フロートとお祭り屋台風メニューを提供しました。皆さん「今日はごちそうだねえ」「こんなにたくさん食べられるかやあ」と笑顔でお話も弾んでいたらしいやいました。

レクリエーションは輪投げです。素投げ？でイメトレの後、高得点を狙ってさあ本番、気合を入れて輪っかを投げます。あと一步のところに入らず、「なかなか難しいなあ」



景品のため頑張るぞ

と悔しがっておられました。次は千本引きで運試し。どの紐を引こうかなと迷いながら「えいっ」と引つ張って何が釣れたかな？皆さん大好きお菓子でした。「なーんだお菓子か」、なんて言う方はおらず（優しい）お茶を飲みながら「私は柿ピーだ」「ビスケットだ」など見せ合いながら楽しく召し上がって頂けました。今後も皆さんの笑顔が見られるような催しを考えていきたいと思えます。



○長寿のお祝い

介護士 津島 香代子

敬老の日は九月十八日ですが、十九日の日に長寿のお祝いをしました。

昼食にあらかじめ予約していた幕の内弁当を提供しました。入居者様は「美味しい。たまにはこういうのもいいね」と言っていて沢山召し上がって頂きました。ただ量が多かったようで、「お腹がいっぱいでもう食べられない」と残されていた方も何人かいらつしいましたが、普段とは違う食事で皆さんとても喜んでくれました。そんな姿を見て、また来年も美味しい食事を提供出来たらいいなと思いました。

そして敬老の日のお祝いで、生花とフォトフレームを入居者様全員にプレゼントしました。

皆さん生花を見て「わく、すごくきれいだね。何のお花かな」など喜ばれ、せっかくなので生花と一緒に写真を撮らせてもらいました。写真を撮る際に恥ずかしがっている方がいて何だか微笑ましかったです。その撮った写真をフォトフレームに入れて本人にお渡ししたところとても感激していただき良かったです。また三時のおやつに和菓子を提供させていただき、こちらも満足されました。

来年も入居者様に満足してもらえように色々と考えていきたいです。

ベルブユーハイツ

○夏祭り

介護士 藤田 淳一

久し振りの開催となる夏祭りが行われました。

まだまだコロナ禍という事もあり、ご家族や地域の方にはご遠慮いただき、ボランティアの方も最小限の人数で行いました。踊りの先生(山吹里の会・ひまわりの会)が踊り始めると曲に合わせて歌う方やその動きを真似して踊られる方など普段とは違う笑顔を拝見出来ました。

おやつの代わりとして、お祭りの屋台メニューを提供しました。メニューはかき氷・たません・飲み物でした。特にたませんを見た事がない方が多く、不思議そうな表情



佐藤朱実様(歌手)も参加

をされていましたが、いざ食べてみると「美味しい!」と言った声が多く聞かれました。更に夕食は焼きそばとから揚げを用意して少しでもお祭り気分になって頂く様に工夫を凝らしました。来年度は本格的な屋台メニューの復活を望んでいます。今後の行事は今回の夏祭りを皮切りとして、コロナ以前の様に活気ある行事が行えたらと思います。

BVH包括支援センター

○依存症講演会に参加して

社会福祉士 菅沼 朋美

九月十六日、穂の国とよはし芸術劇場PLATにてTOKIOの元メンバー山口さんの講演会が岩屋病院主催であり、居宅介護支援事業所のKさんが出してくれたハガキが見事当選しBVH有志六名で参加しました。

第一部は山口さんがアルコールを飲んで、無意識にバイクの運転をしてしまい、道路交通法違反をした話など、経験を元にしたアルコール依存症の話を聞くことが出来ました。第二部は山口さん、三河ダルクの代表者、岩屋病院院長の三者での討論会でした。会場の参加



依存症の怖さを痛感

者からの質問も受けてくれ、笑いも交えながらの話で依存症についてわかりやすく学ぶことが出来ました。また支援する側の私たちの関わり方も考えさせられる講演会で大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。講演会后、参加した男性陣は飲みに行かれたとか。結束を深めるには◎ですが、講演会の成果はというと…です(笑)

DISC吉かわ

○紆余曲折の収穫

介護士 奥山 景子

秋の訪れとともにやっ

て来るのが「サツマイモの収穫」、すなわち『芋掘り』です。今年は苗の準備段階から頭を抱えました。懇意にしている種苗店の情報によれば品種の一つであり、リースナブルな「金時」が生育不良とのこと。仕方ないので、総額は抑えつつも、やや高価な品種もラインナップすることになりました。苗がそろったら「ヒゲ」が出るまでたっぷり水分を与え、苗植えへと移ります。しかし、更なる試験が！植え終えたばかりで根付くかどうかというタイミングで線状降水



「なんだ?!このでかさは?」

帯による豪雨に襲われ、畑は冠水。すね、全滅かと誰もが諦め気分。しかし、一部を除き、耐え忍んだ苗はすくすく成長。そこからは何としてでも収穫、という執念の手入れにより、めでたく利用者の皆さんのにぎやかな声の飛び交う中、無事に収穫できました。この文面を皆さんがご覧になっているところには胃袋に収まっていることでしょう。

麗楽荘

○カラオケレクについて

介護士 川崎 俊弘

今年の五月八日にコロナウイルス感染症の分類が二類から五類に変更になりましたが、まだ感染症にかかる方は多くみられます。そのため感染防止対策は必須ですが、少しでも入所者の皆様に楽しく過ごしていただけたらと思います。カラオケレクを行いました。

「リンゴの唄」、「高校三年生」など昔の唄をよく歌われ、手拍子をされる方や一緒になって歌われる方と人夫々でしたが、皆さん表情豊かでした。

カラオケレクは歌う時に口や身体が自然と動いて口腔内や手足のリハビリ



奏でる歌声

リになったり、歌詞を読んだり覚えたりして声を出すことで脳へ刺激する効果があり、認知症の予防や悪化防止に最適とされています。また、カラオケを楽しむことで心が穏やかになり、精神面への効果もあります。コロナ症の怖さはあるますが、少しでも入所者様に楽しんでもらい、ストレスを発散して健康に過ごしていただけたらと思います。

麗業荘居宅介護支援事業所

○ 共育の日に参加して

ケアマネ副主任 海野 孝光

去る九月十六日の共育の日に「在宅医療と介護・福祉を考える会」が東郷中学校で開催され、市内居宅事業所のケアマネの方々と一緒に高齢者疑似体験の講師を行いました。

高齢者疑似体験セット（ゴーグルや耳栓・手足の重りなど）を装着してもらい、寝返りや階段昇降・日常動作を体験してもらったことにしました。

事前に体験セットの装着を試しましたが、かなり着脱の手順が大変で時間がかかります。当日三十分間で説明をしながら全員参加できるか不安がありました。生徒の方

の協力もあり、約四十名の方に体験してもらったことができました。

体験した方から「白内

障など、思った以上に視野がせまくなった」、「背中が曲がると仰向けで寝れないし、起き上がるのも大変」等の感想がありました。



身をもって体験

その他の会場でも在宅医療や薬剤師の仕事、福祉用具など色々なテーマで講義がありました。多職種連携の推進の為に機会があれば積極的に参加できればと思います。

和光ハイム

○ その時あなたは気づく③

相談員 川上 裕之

車の中の水量が上がっていく中で、とにかく出なければと思いドアノブを引っ張り開けようとすると、重くて開きません。けりを入れても水が邪魔をしています。いつの間にか、ドアミラーの高さまで水位が来ています。そして、車が浮き始め流されていくのです。反対車線の電柱にぶつかり止まり、「電話だ!」と思い、浮いているカバンから携帯を取り、110番を。何度かけても通話中の音が聞こえるだけ。職場の方に電話をすると、ブクブクと音が鳴り、使えなくなっていました。



水没現場（豊川市本野ヶ原）

そういえば、ハンマーがあったはず、しかし、足元の水の中に。覚悟を決めて水の中へ潜り、手探り探して見つけました。「よっしゃ!」の思いも一瞬で、電柱がドアを阻んでいるのです。仕方なく助手席に移り、ドア硝子割り、ドアを開け、高台をめざし、泥水を泳いだのですが、悲劇はまだまだ続いたのでした。次号は『どうなる家は』（つづく）。



○長寿祝賀会

介護士副主任 太田 久美子

九月十八日、グループホームうららでは長寿祝賀会を行いました。

今年はお祝いのアトラクションとして、職員による歌謡ショーが行われました。披露した歌は入居者様に馴染みのあるものから最新の物まで様々でしたが、皆さん曲に合わせて手拍子をし、楽しまれている様子でした。

職員によるアトラクションの後は毎年恒例のプレゼント贈呈です。職員が入居者様一人ひとりに合わせて購入したプレゼントを渡すと、皆さんその場で中身を確認し、お互いに見せ合ったりする

など嬉しそうな笑顔が沢山見られました。



歌謡ショーは大盛り上がり

今年は当日のイベントに加え、フロアごとに分かれて「お祝い外食」にも出かけました。メニュー表を見ながら各自好きな物を注文し、「美味しいね」と喜んでいただくことができました。

来年はご家族様をご招待して、もう少し規模の大きい長寿祝賀会が開催できたら良いと思います。



○ユニットリーダー実地研修体感

介護士副主任 小林 真紀

令和二年度にユニットリーダー研修をオンラインで受講させていただきました。実地研修はコロナ感染拡大のため延期されていきました。念願叶って、この九月に実地研修へ行ってまいりました。

研修施設は一宮市「ゆとりの郷」です。三つのユニットそれぞれ玄関があり、日光や草木の自然を感じながら暮らせる木造平屋建でした。玄関・リビング・廊下には季節の花やこけし・木彫りの熊など祖父母の家のようでした。職員は私服・スリッパ姿で家庭的な雰囲気作りをされていました。

研修のねらいは他施設を見学し、学ぶこともありますが、業務から離れて施設で暮らすという疑似体験することもありました。毎日二～三時間は座ったままメモするだけであり、二日目は朝七時からお昼までの五時間半座ったままでも辛かったです。

普段はリビングで入居者様が立ち上がると「どうされましたか」「座っていて下さいね」と言ってしまうのですが、なるほど、これは腰もお尻も痛い」と痛感しました。

研修で学んだことを職場の仲間に伝え、入居者様の思いに寄り添い、穏やかに過ごしていただけるユニットにしていきたいと改めて思いました。

GHきらら

○長寿で健やかに

介護士 外狩 健太

令和五年九月十九日、施設で長寿を祝う会を行いました。コロナウィルス感染拡大で開催できなかった心配でしたが、無事開催する事が出来ました。

入居者の皆様にどうすれば楽しんで頂けるか職員で話し合い、今年はオードブルを作り立食パーティーのような仕様で祝賀会を行う事にしました。

唐揚げ・チーズ揚げ・えび天・いなり・赤飯・くだものなど、普段の食事より豪華なご飯を見て、皆さま笑顔に。ノンアルコールではありますがビールで乾杯！久しぶりの

ビールをお供に食事を楽しめました。

ここ数年我慢して頂く事が多くなっていました。が段々と制限が緩和され、日常が戻りつつあるなかで、皆様に楽しんで頂けるような行事をこれからも企画していきます。

また来年も一緒に長寿をお祝いできることを今から楽しみにしています。お身体ご自愛頂き健やかに過ごされますよう、お祈り申し上げます。



豪勢な食卓を囲んで

本部 日誌

令和5年9月

- 6日 施設大規模修繕定例会
- 18日 長寿祝賀会
- 20日 施設大規模修繕定例会
- 27日 本部会議（於 斯楽荘）
- 令和5年10月
- 4日 施設大規模修繕定例会
- 13日 雇用管理責任者講習（森森 於 刈谷総合文化センター）
- 18日 本部会議（於 斯楽荘）

作楽荘日誌

令和5年9月

- 6日 中野地区民生委員定例会 包括（於 中野地区市民館）
- 8日 福岡地区民生委員定例会 包括（於 福岡地区市民館）
- 12日 寿司祭り
- 18日 長寿祝賀会
- 20日 介護予防大会（渡邊副主任 於 豊橋市役所）
- 21日 チームリーダー研修（染矢副主任 於 愛知県社会福祉協議会、22日）
- 22日 事故防止委員会施設内研修
- 25日 バスハイイク（於 赤塚山公園）
- 26日 愛クリ運営推進会議（於 愛知クリニック）
- 27日 連絡会議
- 28日 職種別会議（主任ケアマネ、渡邊副主任 於 大清水センター）
- 29日 作楽荘・美光ハイム合同防災訓練
- 令和5年10月

4日 中野地区民生委員定例会 包括（於 中野地区市民館）

6日 身体拘束廃止委員会施設内研修

中野地区民生委員定例会 包括（於 中野地区市民館）

9日 給食会議

13日 寿司祭り

介護予防大会（渡邊副主任 於 豊橋市役所）

16日 包括業務打合せ（リモート会議）

17日 職種別会議（主任ケアマネ、渡邊副主任 於 大清水センター）

茶々倶楽部社内研修

20日 バスハイイク（於 のんほいパーク）

24日 職種別会議（社会福祉士、有馬主任 於 市役所）

職種別会議（保健師）（鈴木 於 大清水センター）

26日 連絡会議

30日 職員健診（於 タキカワ整形外科クリニック）

美光ハイム日誌

令和5年9月

- 7日 茶道クラブ
- 13日 書道クラブ
- 18日 長寿祝賀会
- 19日 健康体操クラブ
- 21日 華道クラブ
- 23日 ぶどう狩り
- 25日 定例会
- 健康チェック
- 美光教室
- カラオケクラブ（3・10・12・17・24・26日）

令和5年10月

- 5日 茶道クラブ
 歯科検診
 11日 書道クラブ
 17日 健康体操クラブ
 秋を楽しむ会
 19日 華道クラブ
 21日 美光教室
 30日 定例会
 健康チェック
 カラオケクラブ(18・10・15・22・24・29日)

倶楽部日誌

令和5年9月

- 6日 移動スーパード買物(毎週水曜日)
 12日 運営推進会議
 15日 誕生日会
 18日 長寿祝賀会
 20日 訪問理美容
 23日 イベントランチ(鯉井)
 27日 倶楽部
 29日 倶楽部連絡会議

令和5年10月

- 4日 移動スーパード買物(毎週水曜日)
 13日 バスハイイク(豊橋公園)
 15日 イベントランチ(炊き込みご飯・チキン南蛮)
 19日 訪問理美容
 22日 イベントランチ(吉野家牛丼)
 26日 誕生日会
 27日 倶楽部連絡会議

G H K U S S 日誌

令和5年9月

6日 おやつ作り

- 12日 移動スーパード買物(毎週水曜日)
 12日 運営推進会議
 18日 長寿祝賀会
 20日 訪問理美容
 27日 倶楽部
 29日 倶楽部連絡会議
 令和5年10月
 4日 移動スーパード買物(毎週水曜日)
 11日 おやつ作り
 19日 訪問理美容
 26日 誕生日会
 27日 倶楽部連絡会議

ス楽部日誌

令和5年9月

- 4日 ス楽部連絡会議
 8日 運営推進会議(書面)
 14日 Cユニットミーティング
 19日 長寿祝賀会
 21日 チームリーダー研修(佐原副主任任於愛知県社会福祉会館、22日)
 28日 作楽部連絡会議
 令和5年10月
 9日 ス楽部連絡会議
 16日 ス楽部運動会
 20日 Cユニット誕生日会
 25日 Bユニット誕生日会
 26日 作楽部連絡会議

ベルビューハイッツ日誌

令和5年9月

- 12日 職種別会議(リモート会議)

14日 地域ケア会議茶話会(リモート会議)

- 20日 認知ケアサポート講座(於 吉田方小学校)
 21日 職種別会議(保健師)(山崎 於 あいトピア)
 チームリーダー研修(藤城副主任任於愛知県社会福祉協議会、22日)
 26日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼 於 市役所)
 令和5年10月
 10日 職種別会議(ライフポート)
 12日 地域ケア会議茶話会(リモート会議)
 16日 業務打ち合わせ会(リモート会議)
 18日 認知ケアサポート講座
 24日 茶々倶楽部社内研修
 職種別会議(社会福祉士)(菅沼 於 市役所)
 25日 職種別会議(保健師)(山崎 於 あいトピア)

DSC吉かわ日誌

令和5年9月

- 11日 芸能慰問(金田ひよこ様)
 15日 感染対策委員会
 18日 長寿祝賀会
 季節の花週間(晩夏を彩る花々、23日)
 虐待防止委員会
 防災委員会
 21日 BCP委員会
 22日 習字教室(佐藤征子講師)
 23日 防災訓練(非常時緊急連絡ミーティング)
 内部研修(大規模及び非常災害時対応「防災委員」)

令和5年10月

- 9日 芸能慰問(金田ひよこ様)
 季節の花週間(秋を彩る花々、14日)
 和太鼓慰問(吉川太鼓・鼓流)
 17日 サツマイモ収穫
 BCP委員会
 運動会
 19日 防災委員会
 20日 虐待防止委員会
 23日 感染対策委員会
 24日 習字教室(佐藤征子講師)
 27日 ミーティング
 28日 内部研修(認知症及び認知症ケア「主任」)

麗楽部日誌

令和5年9月

- 4日 臨床実習受入(中部ビューティデザインカレッジ デイ3名、6日)
 5日 しんしろ支え愛ボラ(1名)
 6日 書道クラブ
 8日 敬老週間における市長訪問
 12日 給食会議
 15日 寿司祭り
 連絡会議・入所判定会議



18 日 長寿祝賀会
19 日 はぐるまの会掃除ボラ(2名)
26 日 誕生日献立

令和 5 年 10 月

10 日 給食会議
11 日 バスハイク(於 豊川海軍工廠平和公園)
12 日 新城市介護認定審査会(海野副主任 於 市役所)
16 日 寿司祭り
17 日 ボラはぐるまの会
20 日 連絡会議・入所判定会議
茶々倶楽部社内研修
25 日 書道クラブ

和光ハイム日誌

令和 5 年 9 月

4 日 和の会
リクエスト昼食
茶臼山厚生病院定期受診
5 日 歯科健診
8 日 茶臼山厚生病院定期受診
18 日 長寿祝賀会

職員募集中

○介護士・看護師
○運転手・清掃員
○勤務地 豊橋・新城

○正職員・パート

職場見学・体験受付中

本部総務 担当 青山

☎(0532)48-5115

19 日 歯科健診

令和 5 年 10 月

2 日 和の会
6 日 茶臼山厚生病院定期受診
運動会
13 日 ピアゴ買い物
20 日 ピアゴ買い物
23 日 バスハイク

GHうらら日誌

令和 5 年 9 月

13 日 敬老会外食(於 和食さん)
16 日 運営推進会議
23 日 お彼岸 おはぎ作り
25 日 誕生日外食
令和 5 年 10 月
3 日 敬老会外食(於 茶一禅)
4 日 中堅職員研修(松下 於 愛知県社会福祉協議会、5 日)
10 日 防災訓練
15 日 喫茶店外出
25 日 ドライブ外出
27 日 誕生日外食

奇楽荘日誌

令和 5 年 9 月

2 日 J 笑門訪問販売(毎週土曜日)
19 日 ユニットリーダー実地研修(小林副主 任 於 ゆとりの郷、20 日)
21 日 誕生日会
25 日 秋を味わう会
令和 5 年 10 月
7 日 J 笑門訪問販売(毎週土曜日)

12 日 運動会

19 日 誕生日会

24 日 地域合同防災訓練
運営推進会議

GHきんり日誌

令和 5 年 9 月

5 日 訪問診療(宇利)
18 日 訪問診療(吉祥)
24 日 長寿祝賀会
28 日 ユニット会議(宇利)
令和 5 年 10 月
3 日 訪問診療(宇利)
5 日 訪問診療(吉祥)
22 日 俺ん家食堂
28 日 ユニット会議(宇利)
ユニット会議(吉祥)

UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを
使用しています。

作楽荘グループ・BVHグループ・園芸部グループ



作楽荘グループ・園芸部グループ

作楽荘グループ・園芸部グループ

施設概要・ブログ等を公開

編集後記

四季の中でも過ごしやすい秋があつという間に過ぎてしまうこの頃、秋とは思えぬ日差しの中で、小学校の運動会が行われていました。最近の運動会は感染症も影響してか半日で終わる学校もあるようです。中学校の部活動は廃止され地域のクラブチームなどへ移行していくようで自らクラブチームを選択し、学校以外でも社会性を育むことが期待できます。

イチローさんや浅田真央さんなどスーパースターが生まれた愛知県は学校の体力テストが全国最下位という不名誉なデータもあります。地域のクラブチームへ移行した後、体力が向上し、未来のメダリストが地元から誕生するのを心待ちし、来年開催のパリ五輪を楽しみにしています。

(Y・A)